

富山県内 受賞者・受賞校一覧および訪問表彰について

【中学生の部】

●個人賞

	氏名	学校名・学年	表彰式について
最優秀賞 (外務大臣賞) ◆タイトル「僕の小さな 一歩」	棚田 武蔵 (たなだ むさし)	射水市立射北中学校 2年生	2/18(土)全国表彰@東京 2/27(月)放課後 14:40~JICA 北陸所長および富山デスクが 学校を訪問し、インタビュー 等実施予定(取材可)
JICA 北陸センター所長 賞	安田 実央 (やすだ みお)	射水市立小杉中学校 3年生	2/14(火)15:40 表彰状と副賞を 進呈
<p>■タイトル「助けあいと豊かさ」</p> <p>マザーテレサの本を読み、「三日」という数字が強く印象に残ったという安田さん。マザーテレサの施設に入った子どもが生きた日数だった。この時から、途上国の現状に興味を持ち、かわいそうではなく、自分には何ができるのか考えようと決めた。そして三日で何ができるのかを常に考えるようになった。また先進国と途上国を分ける、この「豊かさ」とは何なのかを考え、本を読み返した。そして日本の心の「貧しさ」を受け入れつつ、今自分ができること、身近なところから家族を大切にしていこうなど前向きに締めくくられている作品。</p>			

●学校賞／特別学校賞(下部に※補足説明あり)

学校賞	富山市立南部中学校	2/14(火)9:30 表彰状と楯を 進呈
学校賞	射水市立小杉中学校	2/14(火)15:40 表彰状と楯を 進呈 ※同校 個人賞受賞者の表彰と同時実施

【高校の部】

●個人賞

	氏名	学校名・学年	表彰式について
JICA 北陸センター所長賞	金 多恵 (きむ たえ)	富山国際大学付属 高等学校 3年生	2/14(火)12:15-12:45 表彰 状と副賞を進呈
<p>◆タイトル「世界とつながる私たちー未来のための小さな一歩ー」</p> <p>グローバル化が進む今、「本当に外国人という言葉で、私たちと外国人を分けて考える必要があるのだろうか」と疑問を持った。国籍や文化を見るのではなく「人」に注目したとき、その分け方が無意味だと気が付いた。幼いころから様々な国に住んだことがある金さんは、自分の経験から子どものときは、国籍など関係なく、仲良くしていた友人がたくさんいた。そして金さんはみんなに呼びかける「きっと偏見を持たず、全ての人はみんな友達になれるという考え方や見方を持つ、そんな子どもの気持ちになって他の人の世界に興味だけ持ってみよう」と。</p>			
佳作	柳下 茉莉妃 (やなぎした まりい)	富山国際大学付属 高等学校 1年生	2/14(火)12:15-12:45 表彰 状と副賞を進呈

◆タイトル「まず相手を理解すること」

中学生時代に宗教にまつわる週末の過ごし方をきっかけに喧嘩をした外国人の二人の友人をどう仲直りさせるかという自身のエピソードを引用し、喧嘩をしてもお互いを理解しようと歩み寄ることで笑顔になれることを知った。まずは相手を理解することが、共生社会では必要だと説いています。

佳作	池田 瑞月	富山県立南砺平高	2/22(水)12:30～表彰状と
◆タイトル「世界の架け橋」	(いけだ みずき)	等学校 1年生	副賞を進呈

●学校賞／特別学校賞(下部に※補足説明あり)

特別学校賞	富山国際大学付属高等学校	2/14(火)12:15-12:45 表彰状と楯を進呈
		※同校の個人賞受賞者と同時対応
特別学校賞	富山県立伏木高等学校	2/22(水)10:00 に表彰状と楯を進呈

※補足説明:

①学校賞・特別学校賞について

- 学校賞とは、「60 作品以上の応募、または全校生徒の 3 割以上の応募のあった学校」
- 特別学校賞とは、「学校賞を長年にわたり連続して受賞し、多数の応募をしてきた学校」

②個人賞の賞の名称にあります「JICA 北陸センター所長賞」と JICA 地球ひろばのホームページに掲載されています「独立行政法人国際協力機構 北陸センター 所長賞」は同じものとなります。

(「JICA北陸」を正式名称で記載すると、「独立行政法人国際協力機構 北陸センター」となるため)

③全国の表彰結果は、以下のサイトより、ご確認いただけます。

URL: <https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/index.html>

